令和５年度

# 事　業　計　画　書

社会福祉法人　山王平成会

# 目次


法　人　本　部 …… 1

ごしょの保育園 …… 5

かわしり保育園 …… 14

阿久和保育園 …… 21

西柴保育園 …… 27

上永谷西保育園 …… 33

阿久和キッズ …… 40

令和５年３月２３日

# 令和５年度
# 社会福祉法人 山王平成会
# 法人本部 事業計画

## １．基本方針

令和４年度における保育運園は、職員の皆様が冷静かつ臨機応変にご対応して頂いたおかげで、大きな事故、怪我等もなく、年度末を迎えることができました。

これもひとえに、職員の皆様が保育理念に忠実に則り、一人一人が報連相を十分にとりながら、主体的に考え、行動して頂いた成果だと確信しております。

皆様におかれましては、改めまして心より感謝申し上げます。

保育業界の動向に目線を向けると、令和５年度４月には“こども家庭庁”が発足され、認定こども園と保育園の管轄が内閣府になる見込みである。管轄が変わることで保育運営の方向性、求められるコンプライアンス等に変化がないか、随時情報収集しながら柔軟かつ慎重に取り組んでいく。

今後の見通しとして現場の実情は、少子化、担い手不足が思った以上に早い段階で推移している。早い段階から計画的にその対策の準備を進める必要がある。

その一環として法人は大きな舵を切った。

その第一弾として、ごしょの保育園の定員を 180 名から 160 名、阿久和保育園は 90 名から 80 名にコンパクト化を図った。ただ単に、少子化、担い手不足という観点だけではなく、保育理念のキーワードである子どもの最善の利益を更に向上させるためである。加えて、適正かつ安定的な児童数の受け入れ、担い手の確実な雇用、職員の処遇面の向上を追求した結果でもある。

今年度は、定員変更後の安全安心の保育運営、健全な財務面の確保に向け慎重な姿勢は保持しながらも、常に攻めの姿勢も忘れず思い切った経営を進める。

また、今年度は新たに、かわしり保育園の“園舎建替え”から“大規模改修”に方向性を切り替え、資金及び工事計画の策定にスピードを上げ取り組む覚悟である。

並行して、“保育の質の向上”に向け、業務効率化、教育の充実化にも注力する。

１）ICT を活用した業務効率化の更なる推進
２）保育分野におけるｅラーニングを活用したスキル向上(横浜地区に試験導入)
３）保育分野以外で社会人として求められるスキルの向上
　※コミュニケーションスキルを向上させるための研修、感情をコントロールするための研修、資金収支の各勘定科目の分析能力を向上させるための研修等
４）人事考課制度の導入に向けた評価者研修(対象者：園長、主任、副主任)
５）園長、主任、副主任体制の３本柱による園運営の確立(小規模保育事業は除く)

＜第二種社会福祉事業＞

・保育事業　　・小規模保育事業　・延長保育事業
・一時預かり事業　・病児保育事業　・地域子育て支援事業

＜各保育園の定員及び職員数（令和５年４月１日見込み）＞

| 保育園名 | 定員 | 職員数 |
|---|---|---|
| ごしょの保育園 | 160 名 | 50 名 |
| かわしり保育園 | 60 名 | 24 名 |
| 阿久和保育園 | 80 名 | 28 名 |
| 西柴保育園 | 60 名 | 25 名 |
| 上永谷西保育園 | 80 名 | 31 名 |
| 阿久和キッズ | 19 名 | 13 名 |
| 合計 | 489 名 | 171 名 |

## 2. 重点施策

### （１） 本来の保育の楽しさを満喫できる職場環境の追及

約３年間続いたコロナ禍での保育は、神経を使いながら、また国のコロナ対策の方針が目まぐるしく変化する中でも迅速に対応していかねばならない日々だったと思う。素直に保育を楽しむという感覚が持ちにくい環境だったと推測する。

但し、保育を楽しむ気持ちをなくして、主体的に子どもの最善の利益を追及する意欲、行動は起こしにくい。

そこで令和５年度は、以下のような取り組みに焦点を充てる。

１）学ぶ機会、時間を積極的に提供し、働く意欲向上につなげる。具体的にはOJT、OFFJT の年間の研修計画を確実に実現させる。

２）法人園長会、姉妹園交流、職務別の情報交換会を段階的に活発化させる。また、コロナ禍で学んだＺｏｏｍ会議・研修も継続的に有効活用しながら、一方でフェイスｔｏフェイスの打合せもバランスよく取り入れていく。
そうすることで、人と人とのつながりの重要性を改めて実感し直し、笑いが生まれる空間も大事にし楽しく学び合う保育環境を築き、保育の質の向上を目指す。

３）職務別の情報交換会の議題の一つとして、職員が中心となりキャリアパスを精査し見直す。目指すべきキャリアの明確化を図ることで、職員の意欲的な学びを推進、支援する。

４）保育の視野を広げるため、段階的に各園にｅラーニングの導入を推進する。

５）計画的に業務改善ＰＪを実施し、各園の課題に対して早期発見、解決を目指す。根本的な解決への道筋は、職員自身が主体性に考え、行動を起こすきっかけとし、法人は全面的にその支援を行う。
法人本部のスタンスとしては、職員の主体性を重要視し、あくまでも支援する立場で、職員のやりがいを引き出すことに注力する。

6）人財育成の一環として、秋田地区の保育園から横浜地区の保育園に３年間の有期移籍するチャレンジ制度を導入する。
令和 5 年度に本格的に選考試験を行い、令和 6 年度にチャレンジ制度の該当者がいた場合は人事異動を発令する。

## （2）秋田地区における今後の運営方針

昨年度は各園で IT 環境が整備されたこともあり、園長向けの人事考課研修をオンラインで実施することができた。ただし事業計画にあった園児同士のオンライン交流の実現ができなかったため、各園の事情や保育士の意見も聞きながら今年度は実現方法と交流機会の内容を検討、実施に向け具体化していきたい。また園児だけではなく、これまで実施したことのない主任会や保育士のオンライン交流にも発展できるよう考える。

秋田地区でも補助金を活用し園支援システムを導入したので、このシステムをベースとして保育現場の業務軽減や事務の効率化、自動化を図りたい。離職防止を目的として令和 2 年度に実施した職員アンケートを踏まえ行ってきた様々な取組（ごしょの保育園の定員削減、両園での適切な人員配置、環境整備、業務見直し等）の総仕上げとして（年度末での退職希望者がほぼいなくなったこともあり）、当年度内に保護者を含めた IT 活用で締めくくりとしたい。

継続事業としては２つ。
１つは個人情報の管理、各種データ管理を一元化し、その管理方法を周知徹底、運用を軌道に乗せること。これにより持ち帰り仕事の削減、無駄時間の削減（データを探す、データを無くす、消去することを防ぐ）を実現し、時間内で仕事を終える意識の徹底（生産性の向上）を図りたい。
もう１つは職員の資質向上のため、対人コミュニケーションの質を上げるためのアンガーマネジメント研修を昨年度に引き続き実施する。昨年度は基礎講座を全職員に実施したが、今年度も基礎講座は継続実施、新たに職場で活用するためのグループワーク、セルフトレーニングをするための応用編などを年 2 回に渡って全職員へ実施する。
長く継続していくことでアンガーマネジメントが職員の共通言語となり、コミュニケーション、対話が増えるきっかけになると考えている。

## （3）横浜地区における今後の運営方針

令和 4 年度は既に先行していた西柴保育園に続き、上永谷西保育園、阿久和保育園、阿久和キッズと全園で ICT サービス「コドモン」の導入を行った。これにより保育の現場での業務軽減や事務作業の効率化が少しずつではあるが図れてきていると実感している。今年度はさらに ICT 担当の職員同士での会議なども行い、システムをフル活用し、さらなる業務軽減を図る。また、職員の定着やペーパーレス化もあわせて行っていく。

また、令和４年度は研修に重点を置いた１年でもあった。秋田より講師を招いた管理職向けの人事考課研修や危機管理研修、職員向けのアンガーマネジメント研修などを行った。今年度も学びの継続を行うために、各園 e-ラーニングなどの外部研修を導入し、雇用の安定、職員定着のために職員間コミュニケーションのスキルアップを目指す。経理職員についても積極的に外部研修への参加を推進し、その内容を月に１回行う内部研修時に皆に周知するなど、人財育成を図り、さらなる財務強化を図る。

備品や設備工事については今年度も各園の園長と密に連携を取り、さらなる保育環境の充実及び事業計画を期限通りに完遂させる。

また、職員の雇用の一部として、昨年度できなかった障がい者の雇用について、横浜地区でも行えるよう各園園長と連携して進めていく。

昨年度掲げた財務強化については、園舎建替えを行った西柴保育園、上永谷西保育園が安定的な収入を得られたため、積立金や拠点間移動額を増やすことができた。今年度についても雇用を安定させ、定員割れの園を早期になくし、適正な委託費を得られるようする。そして、秋田地区のかわしり保育園の大規模改修工事に向け全力でバックアップしていくことを念頭に置き、今後の資金運用を行っていく。

以上

令和５年３月２３日

# 令和５年度
# ごしょの保育園 事業計画

1. 事業内容
   - ・保育事業
   - ・一時預かり事業
   - ・延長保育事業
   - ・病児保育（体調不良児対応型）事業
   - ・障害児保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

【保育園をめぐる状況】

地域に根ざし・愛される保育園づくりを目指し、町内会で行っている除雪作業に協力したり、園舎の向かいにある中高一貫校が行っている職場体験やボランティア活動、ふれあい体験交流の受け入れを行ったりしている。新型コロナウィルス感染症についても落ち着きを示してきており、近隣の幼稚園、小学校、障害児入所施設、高齢者福祉施設、地域交流センターと、コロナ禍であっても行える可能な範囲での行事を通して、継続した交流を行うことに努めてきている。

設備及び備品に関しては、開園から 20 年以上が経過していることもあり、近年少しずつ故障や経年劣化が見られるようになっているため、計画的に取り換えたり、リースに切り替えたりすることを引き続き取り組んでいきたい。

全国的には、他県における認可保育園や認定こども園等における不適切保育が報道されるなど、保育に対する社会や保護者の関心が高まってきている中で、本園としては、これまで以上に質の高い保育を追究しながら、一貫して子どもを中心にすえたチーム保育を進めることに努めたい。

本園としては、全体的には園児に大きな事故や怪我はなく、保護者の協力も得ながら、円滑に保育活動を進めてきている。したがって、よりよい保育室内の環境構成等を工夫しながら、今後も子どもの主体性を尊重した保育に努め、子どもたちの健やかな成長につなげていきたい。

また、来年度は、定員 160 名に変更となる予定で、166 名の子どもたちが在園する予定である。昨年度同様、職員間で話し合いながら、保育環境、教材整備、そして業務改善にも取り組みながら、子どもにとってより楽しく充実した園生活となるよう園運営を推進していきたい。

【基本方針】

「子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域との連携を図り子どもの発達を促すこと」を保育理念とし、子どもたちが愛されている・受け入れられているという心地よさを感じながら、仲間と共に生きる力の基礎となる、「生活する力」「遊ぶ力」「考える力」「楽しむ力」を身に付けることができるよう、子どもの成長を促していきたい。

3. 重点施策

（1）新しい生活様式に適応しながら、より充実した保育運営を推進する。

新型コロナウィルス感染症については、国、県、市からの通達を職員間で適宜確認し合いながら、保育を行ってきた。行事の取り組み方については、全面中止の方向ではなく、できる範囲での工夫改善を加え、職員間で理解を深めながら進めていきたい。

また、保護者アンケート等を参考にしながら、園児、保護者、職員も満足できるような保育園運営を行っていきたい。

（2）子どもの主体性を尊重した保育の充実を図る。（子どもの最善の利益に向けて）

今年度も前年度の反省や課題を踏まえながら、子どもたちの自信や主体性につながるように、子どもの思いに寄り添った保育を行い、子どもたちの興味・関心を広げてきた。特に、リズム遊び、英語遊びなどの活動に重点をおいて保育活動を進めてきた。

令和５年度は、コロナ禍によるこれまでの保育をより改善するとともに、ごしょの保育園の保育理念である「子どもの最善の利益」への理解を深め、職員がチームとなって一層充実した保育運営を行っていきたい。

4. 施設整備及び備品等購入計画

（1）施設整備（10 万円以上を対象）

| 案件名 | 時期<br>(予定) | 工事・設置金額 | 理由 |
|---|---|---|---|
| 園庭の日よけ対策 | 6 月 | 100,000 円 | 遮光ネット設置工事 |
| 物置小屋の交換 | 6 月 | 150,000 円 | 雨漏りがするため交換 |

（2）備品購入計画（1 品または纏めて 10 万円以上を対象）

| 備品名 | 時期<br>(予定) | 単価 | 数量 | 金額 | 理由 |
|---|---|---|---|---|---|
| 避難車（0～1 歳児） | 9 月 | 160, 000 円 | 1 | 160, 000 円<br>（税別） | 園児数に対して避難車が足りないため |

5. 部門別保育年度達成目標

（1）乳児保育部門

0 歳児

・保育者の愛情のもと、一人ひとりの生理的・心理的欲求が満たされ、安定した生活を送る。

1 歳児

・保育者に見守られながら、身近な人や物に興味をもち関わりを広げる。

・身の周りの簡単なことに対して、自分でやろうとする気持ちをもつ。

・食物アレルギーをもつ園児等がいるので、安全に生活できるようにする。

2歳児

・保育者の見守りや励ましのもとで、自分でやろうとする気持ちをもって物事に取り組み、様々な経験を積む事で基本的な身の周りのことが身に付くように支援する。

・様々な運動遊びに取り組む事で、基本的な体の運動能力を伸ばし、自ら体を動かすことを好むようになる。

（2）幼児保育部門

3歳児

・遊びや生活の中で他者の存在に気づき、共に過ごすことの楽しさを感じたり、関係を深めたりする。

・園生活の流れが分かり、身の回りのことを自ら行い、決まりを守って過ごそうとする。

4歳児

・自分の健康に関心をもち、身の周りを清潔にすることの心地よさに気付く。

・様々なことに興味や関心をもち、友達との関わりを楽しみながら自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付たりできるようにする。

5歳児

・友達と意見を出し合い、心を通わせながら自分たちなりの遊びを生み出したり、目標に向かって力を発揮したりする。

・一人ひとりが主体性をもち、遊びや社会生活において必要な事柄や態度を身に付ける。

（3）給食部門

・物価高騰による食材の値上げが続く中で、子どもにとってより安全で安心な給食の提供

・衛生管理の徹底と衛生マニュアルを遵守した作業の継続に努める。

・食物アレルギー対応をしっかり行うとともに、食事提供の原則をして「組織的対応、完全除去、安全配慮」を実践し、「誤食の防止」を職員全体で周知徹底する。

・年間食育計画の実施にあたり、コロナ禍における状況に応じながら可能な限り、一人一人の育ちに合わせた活動を進めていく。

・複数人いる栄養士の長所を生かした献立になるよう、季節の食材、郷土食、行事食等、工夫をこらして取り組むようにする。

・離乳食の進行に応じて保護者との連携を深め、0歳児からの食事に関わり、安心感を与えるような保護者支援をする。

（4）子育て支援部門

保育所を利用している保護者に対する子育て支援

・保護者が子どもの成長に気付き、子育ての喜びを感じることができるよう、信頼関係を一層深めるように努める。その際は、保護者のそれぞれの置かれた状況に職員全員で配慮する。

・感染症の状況を確認しながら、子育てに悩んだり、不安を感じたりする保護者を支援するようなテーマを設け、子育てに関する講話会などの計画を立案し、ＨＰなどを活用して子育てを楽しむ方法を紹介する。（食育、看護、子どもとの関わり方、親子で楽しめる遊び、保護者のリフレッシュ方法等）

地域の保護者等に対する子育て支援

・未就園児を対象に地域の交流センターで行っている子育て支援活動では、現状に満足せず、その意図を全職員が理解し、保育所保育の専門性を活かした子育て支援ができるよう一層努めていく。（リズム、ベビーマッサージ、簡単な制作等）

・感染症の罹患状況を確認しながら、給食試食会の実施、園見学などの機会を設定する予定。

（５）地域交流部門

近隣の中学校・高校との交流

・国、県、市の感染症状況を把握するとともに、可能な範囲で行事を通しての交流や要望に積極的に応じ、職場体験やボランティア等の受け入れを行っていく。相互の特性を理解、把握した上での災害時の対応も含め、話し合いの場を設けながら交流を図っていきたい。

地域の福祉施設（シルバーエリア、ふれあいセンター、けやき会等）との交流

・国、県、市の感染症の状況を把握するとともに、可能な範囲での交流を行っていく。訪問等が難しい場合でも、手紙やリモート等で子どもの姿や園での活動を知ってもらえるような取り組みを工夫する。

（６）姉妹園交流部門（かわしり保育園）

・行事を通しての交流（野菜の苗植えや収穫活動、竿燈壮行会への参加等）

・給食会議での交流、職員同士での意見交換の継続

・保育、衛生（看護）会議での交流、相互の意見交換を深める

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 年齢別区分 | 令和４年度継続児 | 令和５年度新入児 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 0 歳児 | 1 | 26 | 27 |
| 1 歳児 | 25 | 2 | 27 |
| 2 歳児 | 27 | 0 | 27 |
| 3 歳児 | 26 | 1 | 27 |
| 4 歳児 | 27 | 0 | 27 |
| 5 歳児 | 31 | 0 | 31 |
| 合計 | 137 | 29 | 166 |

＊「令和５年度新入児」は、市役所から内定数として通知が届いている。

(2) 職員数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 職種 | 園長 | 保育士 | 保育補助 | 栄養士 | 調理師 | 事務員 | 看護師 | 顧問 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正職員 | 1 | 22 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 28 |
| 嘱託職員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| パート職員 | 0 | 14 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 20 |
| シルバー人材 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

7. 行事計画

| 月 | 名称 | 内容 |
|---|---|---|
| 4 | 進級・新入日 | 進級園児・新入園児を職員全員で受け入れる。 |
| | おおきくなったね、おめでとうの会 | 進級・新入をみんなでお祝いする。 |
| | 保育園懇談会・ごしょの会総会 | 保育園や保護者会の昨年度の活動内容報告や今年度の方針について話し合う。 |
| 5 | 端午の節句集会 | みんなで端午の節句をお祝いする。 |
| | 内科検診 | 3 回に分けて園医の細谷先生から検診を受ける。 |
| 6 | 保育参観・参加 | お子さんと一緒に保育園での過ごし方を知り、遊びを楽しむ。 |
| | 歯科検診 | 園医の平塚先生から、検診を受ける。 |
| 7 | お泊り保育 | 年長児が保育園で一泊する。 |
| | 七夕集会 | 子ども達のお願いを短冊に書いて飾り、行事の由来について知る。 |
| | 夏まつりごっこ | 園児と職員で、夏まつりを楽しむ。 |
| | かわしり保育園竿燈壮行会 | 竿燈に参加するかわしり保育園児を応援しに行く。 |
| 9 | 運動会 | 御所野小学校のグラウンドや体育館で運動遊びやリレーなどをして楽しむ。 |
| | 自由保育参観・参加週間 | 保護者の方にも“1 日保育士”になってもらい、保育に参加してもらう。 |
| 10 | 遠足 | 学年ごとに園バスに乗って出かける。<br>（3 歳以上児は家庭からお弁当を持参） |
| | 内科検診 | 3 回に分けて園医の細谷先生から検診を受ける。 |
| | 子育て支援　給食試食会 | 未就園児と保護者が保育園に来て給食を試食する。 |
| 12 | 発表会（3 歳児～5 歳児） | 普段の保育園生活で身に付けたことを演目の内容に組み込み、秋田テルサの会場で発表する。 |
| | クリスマス会 | みんなでクリスマスを楽しむ。 |
| 1 | 発表会（1 歳児、2 歳児） | 保護者と一緒に保育園で発表会を楽しむ。 |
| | 新年を祝う会 | 新年をみんなでお祝いする。 |
| | いちごくみの親子でお楽しみ会<br>（0 歳児クラス） | 園児と保護者が一緒になって、体を動かしたり、読み聞かせを聞いたりして、保育を楽しむ。 |
| 2 | 節分集会 | みんなで集会をして節分についての由来を知る。 |
| | 年長保育参観・クラス懇談会 | 卒園の思い出になるものを親子で力を合わせて作ったり、歌や詩を聞いてもらったりする。懇談会では、卒園を前にこれまでの園生活を振り返り、成長を喜び合う。 |
| 3 | ひなまつり会 | みんなで集会をして、ひなまつりの由来を知り、お祝いをする。 |
| | ばらくみさんありがとうの会 | 年長組の子ども達へ感謝の気持ちを込めて、在園児がプレゼントを渡したり、おやつパーティーをしたりして楽しむ。 |
| | 卒園式 | ごしょの保育園のホールで、年長児（ばらくみ）の卒園をお祝いする。 |
| 毎月 | 避難訓練（不審者訓練含む）・誕生会・リズムあそび・英語あそび | |
| 年１回 | 各クラス懇談会・個人面談（実施時期は各クラス毎に異なる） | |

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

| 会議名 | 頻度 |
|---|---|
| 申し送り | １日２回 |
| 職員会議 | 月１回 |
| 給食会議 | 月１回 |
| 担任クラス会 | 月１回以上 |
| クラス会<br>（園長・主任・副主任・担任・補助保育士参加） | 月１回 |
| 乳児会議（０～２歳児チーフ） | 年４回 |
| 園長・主任・副主任会議 | 案件がある場合に随時 |
| ケース会議 | 案件がある場合に随時 |
| チーフ会 | 案件がある場合に随時 |

9. 研修計画

【園内研修・研究】

自分で取り組みたいテーマを決め、チームで研究に取り組む

・職員で園内研究に関する話し合いを行ったところ、研究を深めたいテーマとして、保育のエピソード、感染対策を含めた安全管理、食を通した保護者支援等、様々な分野からの意見があげられた。それらを踏まえいくつか研究テーマを定め、その中から自分の研究したいテーマを決め、所属クラスに関係なく縦割りのグループで、園内研究を進めていく方向で考えている。（4年目以上の職員）

・3年目以下の職員については、同期の職員で話し合って１つの研究テーマを定め、3年目の職員全員が協力して研究を進める方向で考えている。

若手職員の育成

・園内研究の１つとして、保育に関する知識や考えを深めることができるようなテーマを設け（絵本の読み聞かせ等）、若手職員個人でその資料作りや発表等を行う。

・新人職員に対し、社会人、保育士、法人職員としてのエチケットやマナー等の社会人指導を行う。

姉妹園との交流・研修

・姉妹園の保育参観やビデオ視聴等を通して、自園の保育のよさや課題に気付くことができるような交流・研修を行う。

【園外研修】　＊この他、各職員の年度目標と照らし合わせながら､随時研修の申し込みをする予定。
＊表記以外にも処遇改善Ⅱ対象の研修案内が入るので、積極的に参加をする予定。

| 月 | 通常の研修名 | 処遇改善Ⅱ対象の研修名 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 4 | 秋田市地区保育士会総会 | | ・保育士会活動内容の報告、予算案の承認、講演会。 |
| | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 園長等運営管理協議会 | | ・秋田県就学前教育における年度の重点等の伝達等。 |
| | 幹事会 | | ・保育士会で行う学習会等の企画、運営等。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 研究部会 | | ・保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。 |
| | | 新規採用者研修Ⅰ | ・新規採用者を対象とした研修 |
| 5 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 給食担当者部会 | | ・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 主任保育士部会 | | ・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 研究部会 | | ・保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。 |
| | 保健部会 | | ・保健担当の職員（主に看護師等）が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 南部地域子育て支援ネットワーク連絡会 | | ・子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。 |
| | | 教頭・主任等研修会Ⅰ | ・市や県の動向の伝達内容を含めた教頭、主任保育士に対する研修、情報交換等。 |
| | | 新規採用者研修Ⅱ | ・新規採用者を対象とした研修 |
| | | 園内研修リーダー養成講座（応用編） | ・園内研修の進め方や内容について考えを深め、自園の研修に活かす |
| 6 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 主任保育士部会 | | ・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 調理員部会 | | ・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 幹事会 | | ・保育士会で行う学習会等の企画、運営等。 |
| | 研究部会 | | ・保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。 |
| | | 新規採用者研修Ⅲ | ・新規採用者を対象とした研修 |
| | | ５年経験者研修Ⅰ | ・５年以上の経験者を対象とした研修。 |
| | | 中堅保育者資質向上研修Ⅰ | ・10 年以上の経験者を対象とした研修。 |
| | | 保育実践力向上研修Ⅰ | ・３年以上の経験者を対象とした研修。 |
| 7 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 主任保育士部会 | | ・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 研究部会 | | ・保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。 |
| | 保健部会 | | ・保健担当の職員（主に看護師等）が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 給食担当者部会 | | ・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 前期南部地区幼保小連絡協議会 | | ・地区の小学校、幼稚園、こども園、保育園が集まり、授業・保育参観や情報交換等をする。 |
| | | 新規採用者研修Ⅳ | ・新規採用者を対象とした研修 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 特別支援教育担当者研修会 | ・特別支援担当を対象にした研修。 |
| | | 中堅保育者資質向上研修Ⅱ | ・10 年以上の経験者を対象とした研修。 |
| | | 就学前・小学校地区<br>別合同研修会 | ・年長児担当者と１年生担当者を対象にした研修。 |
| 8 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 主任保育士部会 | | ・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 研究部会 | | ・保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。 |
| | | ５年経験者研修Ⅱ | ・５年以上の経験者を対象とした研修。 |
| | | 中堅保育者資質向上研修Ⅲ | ・10 年以上の経験者を対象とした研修。 |
| | | 乳幼児保育研修会 | ・０～２歳児担当を対象にした研修。 |
| | | 保健衛生研修会 | ・保健衛生担当者を対象にした研修 |
| 9 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 給食担当者部会 | | ・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | | 新規採用者研修Ⅴ | ・新規採用者を対象とした研修 |
| | | 中堅保育者資質向上研修Ⅳ | ・10 年以上の経験者を対象とした研修。 |
| 10 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 幹事会 | | ・保育士会で行う学習会等の企画、運営等 |
| | 研究部会 | | ・保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。 |
| | 給食担当者部会 | | ・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 南部地域子育て支援<br>ネットワーク連絡会 | | ・子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。 |
| | 秋田市地域子育て支援<br>ネットワーク研修会 | | ・子育て支援担当者が集まり、子育てに関する研修会を行う。 |
| | 施設交流 | | ・感染状況に配慮しながら他園にお邪魔して、１日保育に参加する。 |
| | かわしり保育園運動会 | | ・感染状況に配慮しながら姉妹園の運動会の様子を見学する。 |
| | | 保育実践力向上研修Ⅱ | ・３年以上の経験者を対象とした研修。 |
| | | マネジメント研修会 | ・ミドルリーダーの役割を担う職員を対象とした研修。 |
| | | 中堅保育者資質向上研修Ⅴ | ・10 年以上の経験者を対象とした研修。 |
| | | 秋田県保育士会研修会 | ・保育士会主催の研修。(内容はその年に応じて異なる) |
| 11 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 主任保育士部会 | | ・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 研究部会 | | ・保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 給食担当者部会 | | ・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 後期南部地区<br>幼保小連絡協議会 | | ・地区の小学校、幼稚園、こども園、保育園が集まり、授業・保育参観や情報交換等をする。 |
| | | 教頭・主任等研修会Ⅱ | ・市や県の動向の伝達内容を含めた教頭、主任保育士に対する研修、情報交換等。 |
| | | 新規採用者研修Ⅵ | ・新規採用者を対象とした研修 |
| | | ５年経験者研修Ⅲ | ・５年以上の経験者を対象とした研修。 |
| | | 中堅保育者資質向上研修Ⅵ | ・10 年以上の経験者を対象とした研修。 |
| | | 園内研修リーダー養成講座<br>（応用編） | ・園内研修の進め方や内容等について考えを深め、自園の研修に活かす |
| 12 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | かわしり保育園発表会 | | ・姉妹園の発表会やおたのしみ会の様子を見学する。 |
| 1 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 給食担当者部会 | | ・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 研究部会 | | ・保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。 |
| | | 新規採用者研修Ⅶ | ・新規採用者を対象とした研修 |
| | | 中堅保育者資質向上研修Ⅶ | ・10 年以上の経験者を対象とした研修。 |
| 2 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | 主任保育士部会 | | ・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 幹事会 | | ・保育士会で行う学習会等の企画、運営等 |
| | 研究部会 | | ・保育に関する研究テーマを掲げ、研究を進める。 |
| | 保健部会 | | ・保健担当の職員（主に看護師等）が集まり、勉強会等を行う。 |
| | 給食担当者部会 | | ・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。 |
| | 南部地域子育て支援<br>ネットワーク連絡会 | | ・子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。 |
| 3 | 施設長会 | | ・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。 |
| | かわしり・阿久和・西柴・上永谷西・阿久和キッズ　卒園式 | | ・姉妹園の卒園式に祝詞を送る。 |

以上

令和５年３月２３日

# 令和５年度
# かわしり保育園 事業計画

1. 事業内容
   ・保育事業
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業
   ・障害児保育事業
   ・休日保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針
   〇新型コロナの影響によるものもあるが、令和５年度４月１日現在のスタートは、園児数５８人とここ数年で最も少ない。秋田市においても、想定以上に少子化が進んでいることがうかがわれる。秋田県内では、保育園の統廃合の話も聞かれている。秋田市においても、この動向は予想される事態である。秋田市竿燈に参加している唯一の保育園、全職員で全園児に関わり丁寧な保育を行っている保育園等、アピールポイントを大切に磨いていくことを考えている。
   〇昨年、６月には、成功裏に第５０回秋田県保育研究大会分科会の発表を終えた。プレゼンテーションや補助資料作りなど、全職員がそれぞれの役割と責任を担い、園全体を上げて取り組んだという達成感は、その後の研究意欲にもつながっている。本年度は『「人と関わる力」を育む～未来につながるより良い保育を目指して～』というテーマの吟味とコロナにより十分できなかった、地域など様々な人との関わりをどう組み込んでいくのかも考察が必要と考えている。また、昨年は、行事等に取り組む子どもの姿や保育士の想いなどのプロセスをドキュメンテーションという形でまとめあげ、壁面に掲示した。今年度はどう取り組んでいくのかも研究の一環として深めたいことである。
   〇今年度は、園舎の大規模改修の可能性を探るために、耐震診断調査業務を筆頭に、実現のための諸条件を整備する年と考えている。法人・園・設計者等と連携しながら仮園舎をどう選定するのか、現有園舎をベースにした場合の部屋の割り振り、備えるべき設備や機器、資金計画等をさらに具体的に進めていきたいと思っている。職員の声も計画的に吸い上げ、職員皆で関わり実現に向かおうという意識を作り上げたい。

**＜基本方針＞**

法人理念・保育理念・かわしり保育園の保育目標を基に、保育を進めていく。子どもや職員が「安全・安心」に過ごせるよう、保護者や地域等と連携をとりながら、子どもの最善の利益を第一にした、バランスの取れた保育・園運営に努めていく。

3. 重点施策

(1) 秋田市竿燈祭りへの参加

令和元年度に祭りに参加して以来、秋田市竿燈祭りから３年遠のいている。当初は祭りそのものが中止であったが、ようやく再開の時期が来たと考えている。令和４年度の年長児については、園内での練習の集大成として保護者への竿燈や太鼓披露という、次年度を意識した取組をした。今年度は、これまでの参加の形（年長児＋前年度卒園児）で練習を組み、是非本番に参加したいと思っている。本園の保護者の声には「竿燈に子どもを参加させたい」という想いで入園を考えたという話もあった。本園をアピールする機会とも捉えられるし、地域との関わりというという視点からも重要である。毘沙門町竿灯会とも早期に連絡をとり、段取りをしていく。

但し、その時の状況によっては、無理は禁物とも考えている。

(2) 保育環境の改善（ＩＣＴの有効活用）

令和４年度末に、法人秋田地区２保育園に保育業務支援システム「おがーるシステム」が導入された。本年度は園児・職員の登降園管理を皮切りに、園児管理・職員管理・施設管理等、多岐にわたる分野でＩＣＴの有効活用を進め業務の効率化を図っていきたい。保育メニューの機能もあるが、すべてを一気にと急いでしまうと職員の負担が増してくることから段階を踏み急がずに、職員・保護者に浸透させていく。

また、老朽度が増している現園舎での修理・修繕については、子どもが安心してあそべる場所の確保のために、優先度をつけて行っていく。大規模改修で対応する部分もリストアップしておく。

(3) 働きがいのある職場作りと協働性の向上

保育園は、家庭や地域等と手を携えながら、未来ある子どもたちに責任をもち、人としての基盤をつくるという重要な役割を担っている。その自覚と使命感が職員一人一人に浸透するよう、今年度も様々な場を活用していきたい。

比較的小規模な保育園であることから、勤務形態や職種にかかわらず、全職員で全園児と関わり育てていくという、かわしり保育園の基本方針の徹底を図る。互いに智恵を出し合い、失敗を恐れず新たなことにチャレンジすることを大いに称揚する。そのことが、職員の達成感、働きがいにもつながると考えるからである。互いに弱音をはける、認め合える、そして切磋琢磨する職員集団になるために、面談や研修などの機会を活用し、チームとしての意識化を大切にする。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

| 案件名 | 時期<br>(予定) | 工事・設置金額 | 理由 |
|---|---|---|---|
| かわしり保育園<br>耐震診断業務 | 6 月 | 2,761,000 円 | 大規模改修に向けての諸調査の一環として実施 |
| 保育室等の不具合箇所の修繕等 | 5 月 | 108,000 円 | 保育室不具合箇所の修繕 |

(2) 備品購入計画（一品または纏めて１０万円以上を対象）

| 備品名 | 時期<br>（予定） | 単価 | 数量 | 金額 | 理由 |
|---|---|---|---|---|---|
| ホール用棚 | 6 月 | 120,000 円 | 1 | 120,000 円 | 老朽化のため更新 |

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

乳児　：・保育者と温かい関わりの中で信頼関係を築く。
・衛生的で安全な環境の下で、生命の保持・情緒の安定を図る。
・安心できる人的・物的環境で、聞く・見る・触れるなどの経験を通し、身のまわりに対する興味や関心が芽生える。
・離乳食や歩行、発語の意欲へ向けて段階的な発達をする。

1 歳児：・情緒が安定し、身の回りのことに興味を持つ。
・探索活動を通して、自由に体を動かすことを楽しむ。
・保育士や友だちと関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。
・少しずつ言葉を覚え、自分の欲求や気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。

2 歳児：・自分の思いや要求を表し、安心して過ごす。
・生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。
・保育士や友だちと関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。
・言葉のやり取りや表現する楽しさを味わう。

(2) 幼児保育部門

3 歳児：・生活の仕方がわかり、自分で身のまわりのことをしようとする。
・体を十分に動かして、様々な動きのある遊びを楽しみ、心地よさを味わう。
・保育者や友だちと親しみ、心地よさを味わう。
・自分の要求や感じたことを自分なりの方法で表現する。

4 歳児：・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
・日常生活に必要な習慣や態度を身につける。
・いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友達との関わりを広げる。
・身近な事象に興味をもち、遊びや生活に取り入れる。
・自分の気持ちを言葉で伝えたり、相手の思いに気づいたりしながら、友達と一緒に遊ぶ。

5 歳児：・集団生活の中で意欲的に活動し、仲間との関わりを通して生きる力の基礎を培う。
・疑問や発見などによる事物への関心を深める。
・物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
・相手の気持ちを考え、認め合いながら遊ぼうとする。

(3) 給食部門

・「安定した給食」や「安心・安全な給食」の提供のため、厨房職員が率先して健康管理、衛生管理を徹底していく。
・給食を通して、子ども達が旬の食材や味覚に触れ、食体験の機会を増やす。
・年齢に合った食材の固さ、形態、嗜好等、その都度給食職員、保育士で話し合い連携していく。

(4) 地域交流部門

・コロナの影響でここ数年できていなかったが、職場体験やボランティアの受け入れ、また、近隣の小学校との交流を少しずつ再開する。
・今後の状況にもよるが、どうしたら子どもたちが安全に竿燈祭りに参加できるか吟味し、参加を前提として計画を進める。
・ごしょの保育園や山王幼稚園とは御山野楽校で一緒になる機会が多い。短時間になると思うが、一緒にあそんだり関わりをもちたい。

(5) 子育て支援部門

・年２回の個人面談は継続していく。日頃から子どもの様子を伝え合うことで、家庭との連携や信頼関係をつくっていく。
・園開放行事については、「地域の就学前の親子が楽しんで遊べる場」「子育ての話が気軽にできる交流の場」「かわしり保育園（の保育）を知ってもらえる場」…となるように積極的に企画していく。
・これまでのやり方にとらわれない、園開放での特別企画も考えてみる。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 年齢別区分 | 年度継続児 | 年度新入児 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 0 歳児 | 1 | 2 | 3 |
| 1 歳児 | １１ | 1 | １２ |
| 2 歳児 | 9 | 0 | 9 |
| 3 歳児 | １２ | 0 | １２ |
| 4 歳児 | １１ | 0 | １１ |
| 5 歳児 | １１ | 0 | １１ |
| 合計 | ５５ | 3 | ５８ |

(2) 職員数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 職種 | 園長 | 保育士 | 保育補助 | 栄養士 | 調理士 | 事務職員 | 看護師 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正職員 | 1 | １１ | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | １５ |
| 嘱託職員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| パート職員 | 0 | 6 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 8 |
| シルバー人材 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

7. 行事計画

※これまで実施してきた行事について、コロナの状況をみながら、吟味していく。

| 月 | 名称 | 内容 |
|---|---|---|
| 4 | 進級・新入を祝う会 | 進級・新入をみんなでお祝いします。 |
| | 端午の節句集会 | 端午の節句をみんなでお祝いします。 |
| 5 | 保護者会・親子遠足 | 親子で遠足を楽しみます。 |
| | 内科健診① | 嘱託医が園児の健康診断を行います。 |
| 6 | 歯科健診 | 嘱託歯科医が園児の歯科健診を行います。 |
| | 清掃日 | 保護者と一緒に園内外を掃除します。 |
| 7 | 七夕集会 | みんなで七夕を楽しみます。 |
| 8 | 竿燈まつり参加（ぞうくみ） | 竿燈に卒園児と年長児が参加します。 |
| | 個人面談 | お家の方と面談をします。（全園児） |
| 9 | 運動会 | 運動会に参加します。 |
| | お泊り会 | 年長児がお泊り会に参加します。 |
| 10 | 自由保育参観・参加週間 | 子どもたちの普段の様子をお家の方に見て頂きます。 |
| | 内科健診② | 嘱託医が園児の健康診断をします。 |
| 12 | お楽しみ発表会 | 発表会を楽しみます。 |
| | 個人面談 | お家の方と面談をします。（希望者のみ） |
| | クリスマス会 | みんなでクリスマスを楽しみます。 |
| 1 | 新年を祝う会 | 新年をみんなでお祝いします。 |
| | 園外活動（買い物・お参り体験など） | 年長・年中児のチャレンジ行事 |
| 2 | 節分集会 | みんなで豆まきをします。 |
| | 保護者会総会・懇談会 | 総会やクラス懇談をします。 |
| | ひな祭り会 | みんなで桃の節句をお祝いします。 |
| 3 | 卒園式 | 年長児の卒園をお祝いします。 |
| | お別れ遠足（ぞうくみ） | 年長児がみんなで遠足を楽しみます。 |
| | 園内お別れ会 | みんなで、ぞうくみの卒園をお祝いします。 |

・毎月、誕生会（以上児と未満児に分かれて）・避難訓練（不審者訓練含む）を実施します。

・園バスを使って、季節感を味わえるような園外へのお出かけを楽しみます。

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

| 会議名 | 頻度 |
|---|---|
| 職員会議 | 月１回（2 回に分けて） |
| 厨房会議 | 月１回 |
| チーフ会や主任・副主任会 | 必要に応じて |
| 園内研究・研修会 | 研究推進チームの年間計画により、保育公開等も含めて開催 |

9. 研修計画

○園内研究・研修

・法人理念、保育理念、園目標などは適切な機会を見つけて、保護者や職員への周知徹底を図っていく。これまでの園内研究や研修を生かして、園としての振り返りを重ね、望ましい保育の在り方や園全体のスキルアップを進めていく。

・ｅラーニング等、ＷＥＢ研修を有効活用する。初任者や経験の浅い職員のために、基礎的な研修を随時行う。

・事前資料渡しや予備学習などを取り入れて、意見や考えをまとめておく方法を適宜行う。できるだけ多くの職員が発言できるように、グループ討議等、話し合い方も工夫する。職員の様々な意見を取り入れることで、新たな気づきや学びにつながり、一人一人の資質の向上にもつながっていく。

○園外研修

※これまで３年間、新型コロナウィルス感染症で自粛していた県外研修等も含め、徐々に解禁していく。

| 月 | 一般の研修名<br>（処遇改善以外） | 処遇改善Ⅱ対象の研修名 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 4 | 研究部会 | | |
| | 園長等運営管理協議会 | | 秋田県教育庁幼保推進課による、国の動向や県の重点等の指示伝達 |
| | 幹事会 | | |
| 5 | 研究部会 | | |
| | | 教頭・主任等研修会１ | |
| | 主任保育士部会 | | |
| | 保健部会 | | |
| 6 | 幹事会 | | |
| | 研究部会 | | |
| | 子育て支援ネットワーク | | 中央地域の子育て支援担当者が集まり、年間計画、情報交換等を行う。 |
| | | ミニ学習会 | |
| | | 新任保育士研修 | |
| 7 | 主任保育士部会 | | |
| | 研究部会 | | |
| | 保健部会 | | |
| 8 | | 乳幼児保育研修会 | |
| | ごしょの保育園運動会 | | 運動会見学 |
| | 山王幼稚園・保育園<br>運動会 | | 運動会見学 |
| | 給食部会 | | |
| | | 主任保育士研修会 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 阿久和・西柴・上永谷西<br>保育園運動会見学 | | 運動会見学 |
| | 秋田市幼保小連絡協議会 | | |
| | 幹事会 | | |
| | 川尻小学習発表会 | | 学習発表会見学 |
| 11 | | 教頭・主任等研修会 2 | |
| | 男性保育士部会 | | |
| | 給食部会 | | |
| | | 学習会 | |
| | 主任部会 | | |
| 12 | 阿久和・西柴・上永谷西<br>保育園発表会 | | 各園の発表会見学 |
| 1 | | 保育園長等研修 | |
| 2 | 主任保育士部会 | | |
| | 保健部会 | | |
| | 給食部会 | | |
| 3 | ごしょの・阿久和・阿久<br>和キッズ・西柴・<br>上永谷西　卒園式 | | 各園の卒園式見学 |

※ 職員個々の研修課題やキャリアアップ研修の履修状況も考慮し、計画的に研修（キャリアアップを含む）を積み重ねていく。また、法人独自研修、秋田市保育協議会や保育士部会研修等は、ＷＥＢ研修も含めて積極的に参加を推進する。

以上

令和５年３月２３日

# 令和 5 年度
# 阿久和保育園 事業計画

1. 事業内容
   ・保育事業
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業
   ・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

令和 5 年度は、0 歳児 5 名、1 歳児 15 名に定員変更し、入所児童数 80 名で運営する。職員体制は、園長、主任が新たに就任する。このことを受け、副主任を新たに設け保育園運営の更なる円滑化や、安全で質の高い保育の実現に向け体制強化を図る。また、保育士の入れ替わりは、保育士 3 名が離職、1 名が姉妹園に異動し、新採用保育士 3 名が加わる。

新体制になり、法人保育理念や保育方針、園目標の共通理解、共通認識の構築が早急に求められる。

令和 4 年度は、ICT 化を担当中心に計画通り推進することができた。しかし、未だ不十分であるため、取り組みの継続が必要である。そのためには、ICT 機器操作を日常保育に組み込み、その簡易性や利便性、省力化を知る事で、ICT に対する心理的ハードルを下げる取り組みが必要である。また、姉妹園に学びを求め、活用の幅を広げていく必要がある。

地域子育て支援は令和 4 年度から、新たな取り組みとして、年齢別に園舎開放を実施し、内容の充実を図った。年齢別実施の趣旨は、利用者に好意的に受け止められた。

令和 5 年度は、4 年度の方向性を継続しつつ、通常の保育業務に支障をきたさない範囲で拡充を計画、実行し保育園が担う地域育児支援における社会的な役割を果たしていく。

【基本方針】

・家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力のもとに家庭養育の補完を行いこどもが健康で安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより健全な心身の発達を図る。
・地域のおける子育て支援のために、乳幼児の養育に関する相談に応じ、助言するなど社会的な役割を果たしていく。

3. 重点施策

（1）こどもを中心にした保育実践を考える対話的な職場風土作り

・職員個々の考えや思いが同等に尊重され、自分たちの保育の良さを確認し課題に前向きに取り組を行う。

・新型コロナウイルス感染対策と並行して保育内容や行事のあり方を再考し実践する。法人理念や園目標に照らし、既存の保育や環境を見つめ直し園全体で討議を尽くした後、全員で共有し、こどもが得られる豊かな保育を実践していく。

・身近な学びを得る機会の充実。“保育は幾通り”ということを職場で共通認識として根付かせ、同僚保育士を、“自分にはない視点を持つ学ぶべき相手”として尊重する姿勢を培う。

（2）保育の見える化（共有化）と業務の効率化の促進

1）ICT の導入に向けた取組

・ICT の更なる活用に向け、担当を中心に姉妹園の状況を学ぶ。

・保護者に向け、日々の保育内容をよりきめ細やかに、タイムリーに伝えられるように乳児個人ノート、幼児クラスノートをコドモンに変更していく。また日誌もドキュメン
ト日誌に変更し職員の業務軽減につなげていく。

・職員間で回覧していた、会議議題や行事計画、研修報告等は、コドモンを活用し効率良く共有していく。

・ICT を活用して保護者に対し一斉送信を行うことで、正確で迅速な情報伝達を行い保護者対応の向上を図る。ICT 環境の無い保護者に対してはより一層きめ細やかな対応を行っていく。

2）0 歳、1 歳児へのコットの導入時期を 4 月 1 日とし、保護者の負担軽減、保育士の業務負担軽減を図る。

（3）安全安心の保育

事故発生防止のための国の通知に従い、安全に関する事項の計画策定を行う。策定に当たり、過去の事故事例やヒヤリハット事例の危険要因を洗い出し事故防止につなげる。また、事故発生時には、緊急度に応じた対応がとれるように事故の振りかえりや他園の事例を参考にし、安全な保育を提供できるようにしていく。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

| 案件名 | 時期<br>(予定) | 工事・設置金額 | 理由 |
|---|---|---|---|
| トイレ床乾式化工事<br>(乳児、2 歳 3 歳トイレ、幼児) | 6 月 | 1,530,000 | 衛生面向上<br>保育士労力削減 |

(2) 備品購入計画

| 備品名 | 時期<br>(予定) | 単価 | 数量 | 金額 | 理由 |
|---|---|---|---|---|---|
| デジタル身長計体重計 | 5 月 | 242,000 | 1 台 | 242,000 | 体重計の狂い |
| 紙芝居・絵本 | 6 月 | 12,600 | 15 組 | 189,000 | 昭和 50 年度代の物を使用しているので刷新 |
| 室内遊具（ブロック、おままごと各種） | 6 月 | ブロック類<br>加配児使用玩具 | 6 組 | 200,000 | 破損、経年劣化 |

5. 部門別保育年度達成目標

（1）乳児保育部門

0 歳児：こども一人ひとりのリズムを大切にし、保育者との信頼関係をつくり、甘え欲求を満たす。安全で活動しやすい環境のもとで姿勢を変えたり、活動したり様々な身体活動をしようとする。

1 歳児：こども一人ひとりのこどもが安定感を持って過ごし、身近な大人に自分の気持ちを表すことが出来るようになる。保育者を仲立ちとして生活やあそびの中で必要な言葉のやりとりを楽しむ。

2歳児：安心できる保育者との関係のもとで、ここの意欲や気持ちを受け入れてもらい簡単な身の回りのことを自分でしようとする。興味のあることや経験した事などを、生活やあそびの中で、保育士と共に好きなように表現する。

（2）幼児保育部門

3 歳児：基本的な運動能力が伸び、それに伴い食事、排泄、衣服の着脱などほぼ自立できるようになる。身近な人やともだちとの関わりが広がり、ごっこあそびや模倣あそびの楽しさがわかってくる。

4 歳児：クラスのともだちや保育士、身近な人に自分の思いを言葉や行動で表現しながら、他者を受容する気持ちが育つ。様々なともだちとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。

5 歳児：生活やあそびの中で達成感や充実感を味わう体験をし、目標に向かってともだちと力を合わせて活動する。日常生活に必要な物事を見たり扱ったりするなどして、その性質や存在に興味を持ったり、数、量、形への関心を深める。

（3）給食部門：アレルギー対応の実施

年間食育計画に基づいた取り組みの実施

給食衛生管理マニュアルに基づいた安全安心な給食提供の実施

調理員ミーティングの定期的な開催

横浜姉妹園との調理員交流の実施

（4）地域交流、子育て支援部門

◆地域親子の心地良い親子の居場所として、地域に根付き多様な支援を提供する。

・園舎開放

妊婦、0歳児～1歳　3カ月―月2回

1歳3カ月～就学児前　　―月2回

・火曜園庭開放

・専門性を活かした相談事業

食育、生活、健康―随時

◆多世代交流

・幼保小連携

・中学校―職業体験、南瀬谷中学校和太鼓交流

・高校―インターシップ

・地域大人―地域老人施設との交流

6．児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和5年4月1日の見込み数)

(単位：人)

| 年齢区分 | 年度継続時 | 年度新入児 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 0歳児 | 0 | 6 | 6 |
| 1歳児 | 9 | 3 | 12 |
| 2歳児 | 16 | 0 | 16 |
| 3歳児 | 14 | 2 | 16 |
| 4歳児 | 16 | 0 | 16 |
| 5歳児 | 15 | 1 | 16 |
| 合計 | 70 | 12 | 82 |

(2) 職員数(令和5年4月1日の見込み数)

(単位：人)

| 職種 | 園長 | 保育士 | 保育補助 | 栄養士 | 調理士 | 事務職員 | 看護師 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正職員 | 1 | 16 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 20 |
| 嘱託職員 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| パート職員 | 0 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 7 |
| シルバー人材 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

7.行事計画

| 月 | 名称 | 内容 |
|---|---|---|
| 4 | 入園進級の日 | 進級、入園を祝う日 |
| | 0，1，2、歳児クラス懇談会 | 1 年間の保育の見通しやクラスの様子を保護者に伝える |
| | たけのこ堀 | たけのこの根切りやたけのこを掘り上げる醍醐味を味わう |

| | | |
|---|---|---|
| | こどもの日集会 | こいのぼりを飾り端午の節句の由来を知り祝う |
| 5 | ３、４，５歳児クラス懇談会 | 1 年間の保育の見通しやクラスの様子を保護者に伝える |
| | じゃがいも堀 | 土に触れじゃがいもの収穫の喜びを味わう |
| | お弁当遠足 | 春の自然の中であそび、戸外でお弁当を食べ楽しむ |
| 6 | 園児内科検診 | 嘱託医による園児内科検診 |
| | 園児歯科検診 | 嘱託医による園児歯科検診 |
| | 親子ふれあい会 | 0 歳、1 歳　親子あそびを楽しむ |
| | 消防署合同避難訓練 | 安全な避難方法を学ぶ |
| 7 | プール開き | プール遊びが始まる。プールあそびの約束を知る |
| | 七夕集会 | 笹を飾り、七夕の由来を知る |
| | 夏まつり | お祭りの雰囲気を味わう |
| 8 | プールじまい | プールあそびが終わる日。水に親しんで遊べたことを称える |
| 10 | 運動会 | 自分なりの力を発揮し、日頃の運動あそびをともだちや親子で楽しむ |
| | さつま芋堀 | 土に触れさつま芋の収穫を喜ぶ |
| | お弁当遠足 | |
| | ヤマト交通安全教室 | 交通ルールを学ぶ。乗車体験を楽しむ。 |
| 11 | 園児健康診断 | 嘱託医による園児内科検診 |
| | 園児歯科検診 | 嘱託医による園児歯科検診 |
| 12 | 発表会 | 日頃のあそびの中から、歌や劇ごっこなどの表現あそびを楽しむ |
| | お楽しみ会 | サンタクロースの登場を喜び交流する |
| 1 | こども新年会 | 昔ながらの正月遊びを楽しむ |
| 2 | 節分 | 節分の由来を知り豆をまいて鬼を追い払う |
| | クラス懇談会 | 1 年のこどもの成長を保護者と確認するとともに進級について伝える |
| 3 | ひなまつり集会 | ひなまつりの由来を知り桃の節句を祝う |
| | お別れ遠足 | 5 歳児と散歩に出かけ一緒に楽しむ |
| | お別れ会 | 「さくら組さんありがとう」の気持ちを伝え楽しいひと時を過ごす |
| | 卒園式 | 年長児の卒園を保護者と職員とで祝う |

※毎月：避難訓練、誕生会

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

| 会議名 | 頻度 |
|---|---|
| 職員会議（給食会議を含む） | 月 1 回 |
| カリキュラム会議 | 月 1 回 |
| アレルギー会議 | 月 1 回 |
| 乳児会議、幼児会議 | 月 1 回 |
| リーダー会議 | 年 4 回 |

9. 研修計画

| 月 | 一般の研修名<br>（処遇改善以外） | 処遇改善Ⅱ対象の研修名 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 4 | 園内研修 | | 嘔吐処理研修 |
| 5 | 園内研修（危機対応） | | 緊急時に必要な対応を学ぶ |
| 6 | 園内研修（危機対応） | | AED 操作訓練 |
| | | 乳児保育分野研修 | 乳児保育の理解を深める |
| | | 幼児保育分野研修 | 幼児保育の理解を深める |
| 7 | | 障害児保育分野研修 | 障害児保育の理解を深める |
| | | マネジメント研修 | リーダーシップ能力を身につける |
| 8 | | 保護者支援子育て支援研修 | 保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ |
| | | 保険衛生・安全対策研修 | 安全管理・保健計画の活用を学ぶ |
| | | 食育・アレルギー研修 | 食育やアレルギーの知識を深める |
| 10 | 5 区合同研修 | | 保育実技を習得する |
| | 看護職研修 | | 保育園での役割を理解する |
| 11 | | マネジメント研修 | リーダーシップ能力を身につける |
| | | 保険衛生・安全対策研修 | 安全管理・保健計画の活用を学ぶ |
| | 児童虐待防止研修 | | 児童虐待への理解と虐待対応を学ぶ |
| | 園内研修 | | 感染予防対策と嘔吐処理方法を学ぶ |
| 12 | 保育所児童保育要録研修 | | 保育所要録の理解と記載方法を学ぶ |
| | 異年齢保育研修 | | 異年齢保育の実技を学ぶ |
| 1 | | 保護者支援子育て支援研修 | 保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ |
| | 園内研修 | | 保育改善検討 |
| 2 | 園内研修 | | 保育改善検討 |
| 3 | 園内研修 | | 保育改善検討 |

以上

令和５年３月２３日

# 令和５年度
# 西柴保育園 事業計画

1. 事業内容
   ・保育事業
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業
   ・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針
・今年度も新しいメンバーを迎え、主任を中心に西柴の理想とする職員同士が保育を語り合い、共に、学び合い楽しみながらのチームでの保育実践をすすめていく。
・コロナ禍での経験を踏まえ、社会情勢・感染症対策に十分配慮しながら、必要な保育活動、園内の行事を開催し充実した保育実践を行う。
・昨年度実施された保護者を中心とした第三者評価、法人内の職員ｱﾝｹｰﾄの分析を基に、西柴保育園の社会的役割、地域に必要とされる西柴保育園であり続けるための努力を続ける。

3. 重点施策
   (1) 木育活動の充実
   今年度も、職員に木育研修に参加をする機会を設ける。
   日常の保育活動の中で木の素材を手にする機会を意図的につくる。
   自然や素材に触れる活動をこども達と楽しみながら実践していく。
   木育活動を園の保育実践の特色の一つとして定着させていく。
   (2) アタッチメント
   乳児期のアタッチメントの重要性の理解、保育者が日常的に心を寄せて一人一人に関わることの大切さを施設全体で理解し、乳児期のこころの安定、土台づくりについて更に学びを深め実践する。
   (3) 保育を語り合える環境づくり
   職員同士が、前向きに、今より更に良くなっていく過程での日々の取り組みであることを理解し合い、好意的に互いを思いやり、責任を持ち個々の業務をとりすすめていく。
   (4) チーム保育・学習の充実
   e ラーニングによる学習方法で学びを見える化し個人、集団での学びを継続する。
   目標を持ち学び続け日々のチーム保育に生かす風土づくりの基礎をつくる。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

| 案件名 | 時期<br>(予定) | 工事・設置金額 | 理由 |
|---|---|---|---|
| エントランスの<br>整備 | 4 月 | 1,300,000 円 | 現在エントランスに冷房が無く、西日も強く特に 5 月から 10 月の期間は高温となるため、エントランスの冷房、ロールカーテンを設置しエントランスの暑さ対策を行なう。 |
| 0 歳児室 | 4 月 | 186,000 円 | 0 歳児室環境設定の為の整理棚はいタイプ購入。 |

(2) 備品購入計画

| 備品名 | 時期<br>(予定) | 単価 | 数量 | 金額 | 理由 |
|---|---|---|---|---|---|
| 幼児用木製玩具<br>おもちゃ等入れ替 | 4 月 | | | 200,000 円 | 老朽化に伴う入れ替え他、新購入 |
| 乳児用木製おもちゃ等<br>入れ替え | 4 月 | | | 200,000 円 | 老朽化に伴う入れ替え他、新購入 |
| ひっつきむしと<br>東京の森・丸太 | 4 月 | | ｾｯﾄ | 99,440 円 | 木育のシンボルである丸太オブジェの購入 |
| 給食室<br>(食器・食育関係) | 4 月 | | | 100,000 円 | 給食室消耗備品、ならびに食育教材 |

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

引き続き 0 歳児、1 歳児のアタッチメントを大切にした泣き声が聞こえない保育への工夫、継続。

乳児こころの安定を重視し、十分な心地良いかかわりをもち受容され甘える経験を重ねる保育を心がける。

0 歳児：安全で清潔な環境な環境の中で、一人一人の発達、発育に応じて離乳の完了、安定した歩行、言葉の獲得をしていく。
落ち着いた雰囲気の中で欲求を満たし、情緒の安定を図るとともに保育者との信頼、愛着関係、友だちとの関係の基礎が育っていく。

1 歳児：愛情あふれる環境の中で保育者に見守られながら、人・物に興味関心を持ち安心して関わりを広げる。支えられ、思い切り甘えることができるようになる。

2歳児：保育者に思いを受け留めてもらい安心できる環境の中で、興味関心を
広げ関わろうとする。
友だちや保育者とのやり取りを楽しみ、自分の思いを表現してみる。

(2) 幼児保育部門

保育者の寄り添いをかてに、ひとり一人の違いを力に保育者に見守られたり、共感してもらいながら日々の様々な場面を通じて、心身ともに育つ。
異年齢の造形や表現、木育活動、体を動かす等の日常の活動を通じ
一人一人の夢中になれる事、好きな事をみつけ、1人でも楽しみ、
仲間とのかかわりも楽しめる活動を十分に体験する。

3歳児：保育者やともだちと関わる中で、安心して自分の気持ちを表出しひとり
一人の気持ちを受けとめてもらいながら、興味のあることや遊びを十分に楽しむ。
生活する中で少しずつ考える場面を経験し、我慢やルールがあること
に気づいていく

4歳児：身辺が自立し、友だちとの関わりを通して、自分の思いを言葉にし、目
的を持って行動する経験を通して、心を豊かにしていく。
協調性が少しずつ育っていく、自意識が芽生え、人の気持ちを気にかけることが出来てくる。
仲間の中で役割を果たそうと頑張る力が育ち、話しを聞けるようになる。

5歳児：仲間と経験する様々な活動を通して、仲間の意思も大切にしながら、
考えや意見が異なっても折り合いをつける経験を通じて仲間と協力
したり、工夫したり、考え、調べることの楽しさを実感する。
自分に自信をもち、仲間の違いを受け入れ、共に成長していく。

（3）給食部門

離乳期や 1・2 歳児においては、安全な咀嚼嚥下機能の発達を促すため適切な食形態を提供し、食事介助の方法にも留意していく。食事が安らぎの時間となるように関わる。

3 歳以上児においては、食事準備に関わる機会を設け、各々に応じて適切に声かけや介助を行い、食行動の自立を促す。また、食への関心が大きくなり、食事の時間が楽しいものとなるよう、食育活動を行う。

※今年度も感染症予防の観点から活動内容を検討していく。

・食育年間計画の共有
・保護者向け給食試食会
・なかよし給食の実施
・アレルギー対応についての情報共有

・保護者向け食育情報提供(献立表・食育だより・写真掲示・ブログ)
・地域への食育情報の発信
・郷土料理献立の提供、各地の情報提供
・各年齢に応じた食育活動の計画、実施

（4）その他の部門を記載する。例：地域交流、子育て支援部門)

・地域交流部門：公園愛護会の方々との交流を中心に。
花壇の整備、焼き芋の会、お正月あそびの会、
西柴夕涼み会(町内の夏祭り)
・地域の保育園との交流（5 歳中心、ｽﾎﾟｰﾂﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ参加、ｷﾗｷﾗﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ参加)
・幼稚園と地域の幼稚園の運動会見学・公園での交流保育
・小学校と西柴小学校との幼保小連携推進事業としての連携・小学校給食体験・
小学校運動会見学・学校体験（ランドセル・教科書・図書室）

子育て支援部門：

・育児講座(年 4～6 回、金沢区中部地区社会福祉協議会との共同事業を予定、
園栄養士による離乳食のお教室、地域の方々との木育活動自然物を利用した
手作りのおもちゃのﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ・リトミック等)
・地域の未就園児との交流の充実（誕生会他園行事への参加のお誘い、園庭開放
交流保育いっしょにあそぼう）
・パパ先生・ママ先生の保育園士体験

一時保育部門：感染症対策を十分に継続していく

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 年齢別区分 | 年度継続児 | 年度新入児 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 0 歳児 | | 5 | 5 |
| 1 歳児 | 6 | 7 | 13 |
| 2 歳児 | １３ | 0 | 13 |
| 3 歳児 | １０ | 1 | 11 |
| 4 歳児 | １３ | 0 | 13 |
| 5 歳児 | 8 | 0 | 8 |
| 合計 | 50 | 13 | 63 |

(2) 職員数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 職種 | 園長 | 保育士 | 保育補助 | 栄養士 | 調理士 | 事務職員 | 看護師 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正職員 | 1 | １４ | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | １６ |
| 嘱託職員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| パート職員 | 0 | 6 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 9 |
| シルバー人材 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

7. 行事計画

| 月 | 名称 | 内容 |
|---|---|---|
| 4 | 入園・進級を祝う会 | 入園・進級を共に喜び合う会 |
| | 懇談会（2，3，4，5歳児） | クラス担任による懇談会 |
| | 誕生会 | 4月生まれのこども達の誕生会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| 5 | こどもの日の会 | こども達の健やかな成長と発達を願う会 |
| | 懇談会（０，１歳児） | クラス担任による懇談会 |
| | 誕生会 | 5月生まれのこども達の誕生会 |
| | 春の健康診断 | 園医による春の定例園児健康診断 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| 6 | 茶道教室（すみれ） | 外部講師による茶道教室年長クラス |
| | 誕生会 | ６月生まれのこども達の誕生会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | 茶道教室 | 外部講師による茶道教室年長クラス |
| 7 | 七夕の会 | 七夕を祝う会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | 茶道教室 | 外部講師による茶道教室年長クラス |
| | 誕生会 | ７月生まれのこども達の誕生会 |
| 8 | すいかわり | スイカ割り体験 |
| | おまつりごっこ | こども達によるなつまつり |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | 茶道教室 | 外部講師による茶道教室年長クラス |
| | 誕生会 | ８月生まれのこども達の誕生会 |
| 9 | 防災訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | 誕生会 | 4月生まれのこども達の誕生会 |
| | 茶道教室 | 外部講師による茶道教室年長クラス |
| 10 | 運動会 | 幼児中心の運動会 |
| | 秋の健康診断 | 園医による秋の定例健康診断 |
| | 誕生会 | 10月生まれのこども達の誕生会 |
| | 茶道教室 | 外部講師による茶道教室年長クラス |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| 11 | やきいも会 | 地域の老人会の方のお力をお借りしてのやきいもづくり |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | 誕生会 | 11月生まれのこども達の誕生会 |
| | 茶道教室 | 外部講師による茶道教室年長クラス |
| 12 | おたのしみ会 | 年間を通じての表現遊び、劇あそびの発表会 |
| | 歯科検診 | 定期的な健診 |
| | クリスマス会 | クリスマスをみなで祝う |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | 茶道教室 | 外部講師による茶道教室年長クラス |
| | 誕生会 | 12月生まれのこども達の誕生会 |
| 1 | お正月遊びの会 | お正月ならではの遊びの伝承と体験 |
| | 視聴覚検査（3歳児） | 行政よる検査キッドを利用しての視聴力検査実施 |
| | 誕生会 | 1月生まれのこども達の誕生会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| 2 | 節分の会 | こども達の成長を祈り立春を祝う。 |
| | 誕生会 | 2月生まれのこども達の誕生会 |
| | 懇談会 | 定例の保護者との懇談会2回目 |

| | | |
|---|---|---|
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | 茶道教室 | 外部講師による茶道教室年長クラス |
| | 作品展 | 年間を通じての木育活動等の作品の展示会 |
| 3 | ひな祭りの会 | ひな祭りを祝いこども達の成長を祈る会 |
| | おわかれ遠足（卒園児のみ） | 年長児の希望を聞いての遠足 |
| | 誕生会 | 3月生まれのこども達の誕生会 |
| | 卒園式 | 年長児の卒園を祝う会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

| 会議名 | 頻度 |
|---|---|
| 職員会議 | 月 1 |
| ケース会議 | 月 1 |
| カリキュラム会議 | 月 1 |
| 乳児保育を語る会議 | 毎日 1 回 15 分 |
| 幼児保育を語る会議 | 毎日 1 回 15 分 |
| 安全会議 | 月 1 |

9. 研修計画

| 月 | 一般の研修名<br>（処遇改善以外） | 処遇改善Ⅱ対象の<br>研修名 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 4 | 接続プログラム研修 | | 小学校入学との連携の為の研修 |
| | 新人研修 | | 新入職員の為の研修 |
| 5 | 乳児研修 | | 乳児の発達のすがた |
| | 幼児研修 | | 幼児のすがた |
| | 主任研修 | | 横浜市が求める主任の姿 |
| 6 | | マネジメント | 横浜市 |
| | | 幼児教育 | 横浜市 |
| | | 乳児教育 | 横浜市 |
| 7 | 木育研修 | | |
| 8 | | マネジメント | 横浜市 |
| | | 幼児教育 | 横浜市 |
| | | 乳児教育 | 横浜市 |
| 9 | 園長研修 | ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ | 横浜市 |
| | 主任研修 | 幼児教育 | 横浜市 |
| | | 乳児教育 | 横浜市 |
| 11 | | マネジメント | 横浜市 |
| | | 幼児教育 | 横浜市 |
| | | 乳児教育 | 横浜市 |
| 12 | 子どものアトリエ研修 | | 横浜美術館による造形研修 |
| | | 保健衛生 | |
| | | 保護者支援 | |
| 1 | 園内研修リーダー | 保健衛生 | |
| 2 | 園内研修リーダー | 保護者支援 | |
| | 園長研修 | | 次年度に向けた園長研修 |

その他保育のデザイン研究所による e ラーニング研修

以上

令和５年３月２３日

# 令和５年度
# 上永谷西保育園 事業計画

1. 事業内容
   ・保育事業
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業
   ・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

【保育園をめぐる状況】

・現在の保育園をめぐる様々な問題に重点を置き、「安心安全、適切な保育」を提供していく。保育士が子ども達に対して、一方的に自分自身の考えを押し付けたり、働きかけたりするのではなく、保育の中心は子どもが主体であるという認識の下、子どもの心に寄り添い思いを感じ取ることが大切である。
子どもへの対応は個々、また状態や状況によって違う為、子どもが自ら自分の課題を乗り越えていくことの出来るよう、援助を行うことが必要である。
・保護者からも理解を得ているが、新型コロナウイルス感染症に伴い行事が縮小となりまた、感染防止対策を行った中での保育となり保護者より様々なお声を頂いた。感染症の収束に向け保護者の要望を受け入れつつ、行事や、保育の実施の仕方、保護者の参加の仕方を検討し、それと同時に保育士の業務過多、業務に対するストレスの根源の見直しを行っていく必要がある。

【基本方針】

・保育士自身が豊かな人間性を身に付けることが最も重要となり、子どもの発信に対して決して一方的なものではなく、気持ちを受け止めようと保育士が一人の人として、寄り添って子どもと関わる。子どもも心を開き信頼関係が築けると思う。自分の持つ価値観などを、無意識のうちに、子どもに示しているということである。いつも柔軟な姿勢で自信を見直し続ける必要があり子どもに自分の価値観を押し付けない保育を提供していく。
・令和５年度は以下の目的による研修を推奨していく。
① 保育の専門性を高める研修 （保育に必要な知識や実践力の向上となる研修）
② 経験値に応じた研修 （年齢や経験に応じた立場や役割を認識し、職務を遂行するために質、指導力の向上を図る）
③ カウンセリング能力を高める研修 （主任、副主任、リーダー）
（保護者や子ども一人ひとりの声を傾聴、受容し、信頼関係の構築、援助するための心得を身に付ける研修）

・感染対策を見直しつつ保護者が不安に感じないような取り組みをしていく。
・主任、副主任は保育現場と密接に関わり、人材育成を意識的に行いチームワークの安定、職員間の信頼関係を深める。

3. 重点施策

(1) 子どもの最善の利益を考慮した保育を行う

・相手の気持ちを受け止め、一人の人として相手と関わる時、相手はそれを感じ取り、心を開き、自分らしさを表現し互いの信頼関係を生み出されるという事を意識し 一人一人の子どもを大切にし、「自分は愛されている」「大切にされている」思いを育む専門性を高め、心を育てるため、自らの人間性や社会性、専門職としての向上に努める。

(2) 人材育成

・職員が一員として それぞれの役割を自覚し、保育への前向きな姿勢をしっかり持ち、持ち園全体及び職員個々の資質向上を図る研修を計画する。
・職員個人別研修計画（自己向上のための目標）を設定し、それに基づいた研修への参加を勧奨する。
・昨年度同様、キャリアアップ研修の受講を奨励する。

(3) 地域交流、地域子育て支援の取り組み

・地域子育て支援においては園庭開放、交流保育、育児講座を計画的に行っていく。
・地域交流においても年度当初に計画し、取り組み方を考え進めて行く。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

| 備品名 | 時期 | 単価 | 数量 | 金額 | 理由 |
|---|---|---|---|---|---|
| 園庭整備 | 5 月 | 306 万円 | 一式 | 306 万円 | 園庭不備の為 |
| 組み立て式プールユニット追加 | 6 月 | 42 万円 | 一式 | 42 万円 | プール遊びの充実化の為 |

(2) 備品購入計画

| 備品名 | 時期 | 単価 | 数量 | 金額 | 理由 |
|---|---|---|---|---|---|
| デジタルカメラ | 5 月 | 40,000 円 | 3 | 120,000 円 | 不足の為 |
| 園庭遊具 | 10 月 | 100,000 円 | 1 | 100,000 円 | 新規購入 |

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

0 歳児：

・個人差に応じた生理的欲求を満たし、快適に生活できるようにする。

・一人ひとりの発達を理解し、個々に応じた保を行う。

・衛生的で安全な環境で、個々の生活リズムを大切にし基本的生活習慣を身に付ける。

1 歳児：

・様々な経験や探索活動の中から言葉を獲得できるようにする。

・安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが育めるようにする。

・生活リズムが安定し、食事・排泄・着替えなど、生活習慣の自立の芽生えを育てる。

2 歳児：

・安全に注意し、友達との関りを大切にすると共に、自分で出来る事を増やしていけるようにする。

・自然に親しみ、様々な遊びや体験を通して、色々な物への好奇心や興味を持てるようにする。

・言葉で表現する喜びを味わえるようにする。

(2) 幼児保育部門

3 歳児：

・保育士や周りにいる大人たちとの信頼関係の下、生活に必要な基本的習慣や態度を身につける。

・四季を通して、目的を持って散歩に出かけ、自然に触れ草花や小動物に関心を持ったり、言葉で伝えあったりするなど自然を通して主体的に学ぶ。

4 歳児：

・集団生活における約束や社会のルールの大切さを知り、守ろうとしながら生活していけるようにする。

・様々な経験からできた喜びを持てる環境を作る。

・活動のイメージを膨らませ、見通しを持って取り組めるようにする。

・十分に体を動かす環境作りを心掛ける。

5 歳児：

・友達と協力して目標に向かって取り組み、やり遂げる達成感や充実感を味わえるようにする。

・基本的生活習慣の確立を目指す。　・就学に向けて、必要な生活習慣を身に付けられるようにする。

・自分の良さに気付き自分に自信を持てるようにする。

(3) 給食部門

・離乳食の取り組みを丁寧に行い、個々に合った対応を保護者と連携し行う。
・給食衛生管理マニュアルに基づいた対応
・栄養士間の連携の下、給食提供時間の厳守、献立内容の工夫の実施
・アレルギー対応の実施
・食育活動を計画、実施し経験することで子どもが感じる感性を育む。

(4) その他の部門

【支援児（障害児）支援】

・個々に応じた対応を丁寧に行い、愛されている心地良さ、友達との関りの中での成長を見逃すことなく保護者と共感し協力し合う関係性を築く。

【地域子育て支援】

・一時保育の受け入れや定着を行い子育て支援を行う。
地域の親子がゆっくり憩える、相談や環境を作り

【地域交流】

・幼保小交流を初め近隣の小学校との交流を行い年長児がスムーズに就学できるように架け橋を行う。
・近隣の保育園との交流に積極的に参加し良好な関係性を築く

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 年齢別区分 | 年度継続児 | 年度新入児 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 0 歳児 | 0 | 3 | 3 |
| 1 歳児 | 2 | 10 | 12 |
| 2 歳児 | 15 | 0 | 15 |
| 3 歳児 | 15 | 0 | 15 |
| 4 歳児 | 15 | 0 | 15 |
| 5 歳児 | 16 | 0 | 16 |
| 合計 | 63 | 13 | 76 |

(2) 職員数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 職種 | 園長 | 保育士 | 保育補助 | 栄養士 | 調理士 | 事務職員 | 看護師 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正職員 | 1 | 14 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 20 |
| 嘱託職員 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| パート職員 | 0 | 8 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| シルバー人材 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

7. 行事計画

| 月 | 名称 | 内容 |
|---|---|---|
| 4 | 入園・進級の日 | クラスごとに集い、新入園児の紹介と年長児より手作りお花のプレゼント |
| | 育児講座「子どもの日の集い」 | 子どもの日に因んで制作など取り組み楽しむ |
| | クラス別懇談会 | 年間の保育のねらい、予定、子どもの姿、保護者の親睦を図る |
| 5 | クラス別懇談会 | 年間の保育のねらい、予定、子どもの姿、保護者の親睦を図る |
| | ３・４・５歳バス遠足 | バスに乗って園外保育を楽しむ |
| | ジャガイモ掘り | 栽培したジャガイモを掘りを体験する |
| | 尿検査 | 3歳児から5歳児実施 |
| 6 | プール・水遊び開始 | プール遊び、水遊びを楽しむ。 |
| | 園児健診 | 園医による内科検診 |
| | 園児歯科検診 | 歯科医による歯科検診 |
| 7 | 七夕 | 七夕の由来の話や飾りの紹介などをする。 |
| 8 | スイカ割り | スイカ割りを楽しむ |
| 9 | プール・水遊び終了 | プール、水遊びを終了する |
| 10 | 運動会 | 日頃の運動遊びを披露する |
| | 防災訓練 | 降園時、引き取り訓練を行う |
| | 育児講座「運動遊び」 | 講師を招き乳児クラスと一緒に運動遊びに参加する。 |
| | サツマ芋掘り | 栽培したサツマ芋を収穫する体験をする |
| | ハロウィン | 秋の収穫をお祝いし、ハロウィンパーティーを楽しむ |
| 11 | ３・4歳児バス遠足 | バスに乗って園外保育を楽しむ |
| | 園児健診 | 園医による内科健診 |
| | 歯科検診 | 歯科医による歯科検診 |
| | 消防署との合同防災訓練 | 消防署の職員の方々に来てもらい、煙体験、水消火器、ミニ消防服の試着などの体験 |
| 12 | 生活発表会 | ２部制。乳児の部はクラスにて保育参加。幼児の部は発表形式で日頃の表現あそびを楽しむ |
| | 「育児講座」リース作り | 保育士による講座。芋のツルを使ってのリース作り。 |
| | クリスマス会 | 保育士の出し物などを皆で楽しむ。会食をする。 |
| 1 | クラス別懇談会 | 子どもの姿や活動報告をスライドショーで可視化して伝える。親睦 |
| | 交通安全教室<br>（バスの乗り方教室） | ４・５歳児が実施。交通局港南営業所による交通安全についての話し、バスの見学等 |
| | 巡回訪問<br>（港南療育センター） | 保育の様子を見学後個別相談 |
| 2 | 節分 | 地域の親子が参加。園児と一緒に伝統行事を楽しむ。 |
| | クラス別懇談会 | 子どもの姿や活動報告をスライドショーで可視化して伝える。親睦 |
| 3 | ひなまつり | 地域の親子が参加。園児と一緒に伝統行事を楽しむ。 |
| | ５才園長との食事会 | ５歳児が園長とのお楽しみを交えた食事会を行う |
| | １．２才クラスバス散歩 | 乳児クラスバスでのドライブ |
| | おわかれ遠足 | 幼児３クラスで実施。園児と保育士でお弁当を持参 |

| | | |
|---|---|---|
| | | で行く。昼食代の代替えを配布（菓子など） |
| | おわかれ会 | ４歳児クラスが中心となり、年長児の卒園をみんなでお祝いし一緒に楽しい時間を過ごす。会食を行う |
| | 卒園式 | ５歳児の卒園を祝う |

※毎月：避難訓練、誕生会

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

| 会議名 | 頻度 |
|---|---|
| 職員会議 | 月１回 |
| カリキュラム会議 | 月１回 |
| 乳児会議 | 月２回 |
| 幼児会議 | 月２回 |
| クラス会議 | 必要に応じて |
| リーダー会議 | 月２回 |
| アレルギー会議 | 月１回 |
| アルバイト会議 | 月２回 |

9. 研修計画

| 月 | 一般の研修名<br>（処遇改善以外） | 処遇改善Ⅱ対象の研修名 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 4 | 園内研修 | | ・新型コロナウイルス感染関係 |
| | 園内研修 | | ・屋内外での事故防止①<br>（園内外の安全点検・遊具遊び）<br>・アレルギー対応<br>・記録・書類の書き方・提出物、締切等 |
| 5 | 幼保小エリア別研修 | | ・教育施設職員交流関係 |
| | 園内研修 | | ・マニュアル関係 |
| | 園内研修 | | ・応急処置や緊急時の対応の仕方<br>・こどもの感染症①<br>（夏に向けての感染症） |
| | | こども青少年局キャリアアップ | 初級乳児保育・幼児保育 |
| | | こども青少年局キャリアアップ | 衛生管理講習会 |
| 6 | 園内研修 | | ・園内外での事故防止②<br>（水遊び・戸外遊び・虫さされ）<br>・事故救命について |
| | 園内研修 | | 保護者対応について |
| | | 白峰学園研修 | 0・1・2・3・4・5歳児保育 |
| | 港南区保育・教育施設職員研修 | | 乳児わらべ歌 |
| | 港南区保育・教育施設 | | 乳幼児健診見学体験 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 職員研修 | | |
| 7 | | こども青少年局キャリアアップ | 保育所保育指針 |
| | | こども青少年局キャリアアップ | インクルージョン保育を考える［クラス運営を中心に］ |
| 8 | | こども青少年局キャリアアップ | リスクマネージメント |
| | よこはま港南地域療育センター | | こどもの発達障害―診断の考え方、伝え方― |
| 9 | 港南区保育・教育施設職員研修 | | 乳児保育について |
| | | 白峰学園研修 | 障害児保育 |
| 10 | | 白峰学園研修 | 保健衛生安全対策 |
| | 港南区保育・教育施設職員研修 | | 発達の気になる子の理解と対応 |
| 11 | 園内研修 | | こどもの感染症②（インフルエンザ・感染性胃腸炎等） |
| | | こども青少年局キャリアアップ | 障害の理解基礎編 |
| | 港南区幼保小教育交流事業 | | 健やか子育て後援会 |
| 12 | 園内研修 | | 園内外での事故防止③（冬の戸外遊び） |
| 1 | 園内研修 | | 保育の改善検討①（問題点、課題の発見、共有） |
| | | 白峰学園研修 | 食物アレルギー対応 |
| 2 | 園内研修 | | 保育の改善検討②（改善事項の確認、改善内容の検討） |
| | 港南区幼保小教育交流事業 | | 保育要録について |
| 3 | 園内研修 | | 保育の改善検討③（関係マニュアル整備、改善点の共有） |

以上

令和５年３月２３日

# 令和５年度
# 阿久和キッズ 事業計画

1. 事業内容
   ・小規模保育事業
   ・延長保育事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針
   ・地域に根差した保育運営ということで前園長より引き継ぎ、現状を把握しつつ、良い所をより良くするよう考え、実践し、改善が必要と思われる所は、事務長と相談しつつ、少しずつ変更していった。４月は職員が１名足りない状態でのスタートだったので、０歳児の定員を３名とした。７月より職員が入職し、０歳児が２名増え、１０月より職員１名増え定員１９名となる。職員は十分な経験のあるしっかりとした保育を行うベテランとやる気に満ちたフレッシュな職員がリーダーを中心に調和のとれた体制での保育を行っている。しかし、１月に体調不良と一身上の都合ということで２名の退職者が出た。予想していなかったことで保育に支障のないよう職員同士協力しあい、また３月入職予定の保育士が非常勤として勤務してくださり事なきを得た。
   「ふれあいの中で心豊かに育ちあうこどもたち」を目標とし、ひとりひとりの子どもとの愛着を大切に丁寧に関わり、保育を語り合える仲間とお互いを尊重しながら協力して保育をしていく。

3. 重点施策
   (1) 保育を語り合える関係
      ・心身ともに健康である。
      ・やる気が向上するような職場環境を作る。
      ・日常の保育についてかしこまらずに気軽に話をし、相談できる関係を作っていく。
   (2) 保育環境の整備
      ・清潔で安全な環境をいつでも提供する。
      ・子どもたちが自分で遊びたいおもちゃを選び、自分で片付けることができるようにする。
      ・マニュアルを再度作成し、職員それぞれが確認し実践できるようにする。
   (3) ICT による業務の効率化
      ・ICT 係を設け、カリキュラムやレジュメなど積極的に導入し、工夫して効率化を図っていく。

(4)　姉妹園・連携園・地域の方々との交流

・コロナ禍で進んでいなかった姉妹園との交流や連携幼稚園との親睦を深める。
地域の方々と感染対策を十分にとりながら、交流を深める。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

| 案件名 | 時期<br>(予定) | 工事・設置金額 | 理由 |
|---|---|---|---|
| 電子錠設置 | 4 月 | 130,000 円 | 玄関ドアセキュリティー強化の為 |

(2) 備品購入計画

特になし

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

0 歳児・清潔で安全な環境の中で、保育者の愛情豊かな応答的な関わりを通して愛着関係を築いていく。

・穏やかな落ち着いた環境でのびのびと育つ。

1 歳児・安心、安全な環境の中で、ひとりひとりとの関わりを大切にしながら信頼関係を築いていく。

・保育士を仲立ちとして周りの友だちに興味、関心を示し一緒に成長していく。

2 歳児・安心できる環境の中で、保育者に見守られながら興味、関心を広げ自分で行ってみようと挑戦していく。

・自分の思いや要求を言葉で表せるようになり、要求を満たしてもらいながら安心して過ごす。

(2) 給食部門

・安全な給食提供の実施
・離乳食の取り組みを丁寧に行い、ひとりひとりにあった対応をしながら、保護者と連携して提供していく。
・アレルギー対応を確実に行う。
・コドモンを導入していく。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 年齢別区分 | 年度継続児 | 年度新入児 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 0 歳児 | 0 | 6 | 6 |
| 1 歳児 | 6 | 0 | 6 |
| 2 歳児 | 7 | 0 | 7 |
| 3 歳児 | 0 | 0 | 0 |
| 4 歳児 | 0 | 0 | 0 |
| 5 歳児 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 13 | 6 | 19 |

(2) 職員数(令和 5 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

| 職種 | 園長 | 保育士 | 保育補助 | 栄養士 | 調理士 | 事務職員 | 看護師 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正職員 | 1 | 7<br>(産休含) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8<br>(産休含) |
| 嘱託職員 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| パート職員 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| シルバー人材 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

7. 行事計画

| 月 | 名称 | 内容 |
|---|---|---|
| 4 | 入園・進級を祝う | 新入園児、進級児を祝う |
| | 4 月生まれ誕生会 | 4月生まれの子の誕生会 |
| | 避難訓練 | 月１回避難訓練 |
| 5 | こどもの日の会 | 子どもの健やかな成長を祝う |
| | 5月生まれ誕生会 | 5月生まれの子の誕生会 |
| | 懇談会 | １年間の保育の見通しやクラスの様子を伝える。保護者同士の親睦を図る。 |
| | 避難訓練 | 月１回避難訓練 |
| 6 | 内科検診 | 園医による検診 |
| | 歯科健診 | 園医による歯科健診 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | 6月生まれの誕生会 | 6月生まれの子の誕生会 |
| 7 | じゃがいも掘り | ２歳児クラス、バスに乗ってじゃがいも掘りに行く |
| | 七夕の会 | 七夕について知り、笹飾りを披露しあう |
| | 7月生まれ誕生会 | 7月生まれの子の誕生会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| 8 | すいかわり | すいかわりを体験し楽しむ |
| | 水あそび | 安全に水に親しむ |

| | | |
|---|---|---|
| | ８月生まれ誕生会 | ８月生まれの子の誕生会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| 9 | 水あそび終了 | |
| | ９月生まれ誕生会 | ９月生まれの子の誕生会 |
| | 避難訓練・引き取り訓練 | 月１回の避難訓練 |
| 10 | さつまいも掘り | ２歳児クラス、バスに乗って、さつまいも掘りを体験する。 |
| | １０月生まれ誕生会 | １０月生まれの子の誕生会 |
| | ハロウィーン | 秋の収穫をお祝いし、ハロウィーンパーティーを楽しむ |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| 11 | 親子であそぼう会 | お家の方と一緒に楽しむ |
| | 内科検診 | 園医による検診 |
| | 歯科健診 | 園医による健診 |
| | バスに乗って散歩 | バスに乗って秋の自然に親しみ散歩を楽しむ |
| 12 | １１月生まれ誕生会 | １１月生まれの子の誕生会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | クリスマス会 | サンタクロースの登場を楽しみにし、クリスマスを楽しむ。 |
| | １２月生まれ誕生会 | １２月生まれの子の誕生会 |
| 1 | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | こども新年会 | 新しい年をみんなでお祝いする |
| | １月生まれ誕生会 | １月生まれの子の誕生会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| 2 | 節分の会 | 豆まきをして鬼を追い払い、福をたくさん呼ぶ |
| | ２月生まれ誕生会 | ２月生まれの子の誕生会 |
| | 避難訓練 | 月１回の避難訓練 |
| | 懇談会 | １年間の成長を保護者と共に語り合う |
| 3 | ひなまつりの会 | おひなさまの由来を聞き、桃の節句をお祝いする |
| | お別れ遠足 | みんなで散歩を楽しみ、お弁当を食べる |
| | ３月生まれ誕生会 | ３月生まれの子の誕生会 |
| | 小さな卒園式<br>避難訓練 | ２歳児の卒園をお祝いする<br>月１回の避難訓練 |

8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

| 会議名 | 頻度 |
|---|---|
| 職員会議 | 月１回 |
| カリキュラム会議 | 月１回 |
| 献立確認会 | 月１回 |
| ミーティング | 毎日 13:00～ |

9. 研修計画

| 月 | 一般の研修名<br>（処遇改善以外） | 処遇改善Ⅱ対象の研修名 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 4 | 園内研修 | | 法人理念・保育理念・園目標 |
| | | | 全体的な計画について |
| | | | アレルギーについて |
| 5 | 園内研修 | | AED・救急対応 |
| | 防火・防災講習会 | | 防火・防災訓練 |
| | 瀬谷区施設長会 | | 他施設との情報共有 |
| 6 | | 乳児保育研修（全5回） | キャリアアップ研修 |
| | 食品衛生講習会 | | |
| | 園内研修 | | 嘔吐処理研修 |
| 7 | | 保健衛生・安全対策（全５回） | キャリアアップ研修 |
| | | 障害児保育研修（全５回） | キャリアアップ研修 |
| | 園内研修 | | 水遊び等安全対策 |
| 9 | 園内研修 | | 人権について |
| | | 主任保育士研修（全５回） | キャリアアップ研修 |
| | | 保護者対応研修（全５回） | キャリアアップ研修 |
| 10 | | マネージメント研修（全５回） | キャリアアップ研修 |
| | 園内研修 | | 不適切な保育・安全について |
| 11 | 園内研修 | | 事故防止研修 |
| 12 | 乳幼児調理研修 | | 子ども主体の保育における食育のあり方について |
| | 園内研修 | | 横浜保育・教育宣言研修 |
| 1 | 園内研修 | | AED・嘔吐処理研修 |
| | 食育研修会 | | |
| 2 | 園内研修 | | 施設の自己評価について |
| 3 | 園内研修 | | 来年度に向けて改善検討 |

以上